

経営評価シート

1. 団体の基本的情報							
団体名	福岡県道路公社			設立年月日	昭和49年12月2日		
所在地	福岡市博多区吉塚本町13番50号 福岡県吉塚合同庁舎4階						
出資総額	22,865,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	15,475,250千円		福岡市	7,389,750千円	32.3%		
県出資割合	67.7%			千円	%		
				千円	%		
設立目的等	福岡県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。						
現状の主要事業の内容							
事業名	事業内容						
維持管理業務	福岡前原道路(L=14.2km)の運営管理 ※ 料金徴収期間満了に伴い、天神中央公園駐車場は平成28年4月3日に福岡市に、冷水道路(L=5.9km)は平成28年5月15日に福岡県にそれぞれ移管した。						
事業実績に関する情報	単位	H28	H29	H30	R1	R2	備考
冷水道路1日当たり交通量	台	8,334	-	-	-	-	H28年5月県に移管
福岡前原道路1日当たり交通量	台	23,285	24,117	24,761	24,795	21,161	前原料金所
〃	台	33,181	34,395	35,010	35,393	31,096	福岡西料金所
天神中央公園駐車場1日当たり利用台数	台	787	-	-	-	-	H28年4月福岡市に移管
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長 村田 泰英			区分	県OB		常勤
常勤役員名	-			区分	-		
		H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1
常勤役員数(※)		2名	1名	1名	1名	1名	1名
職員数	常勤(正規)	9名	9名	9名	9名	8名	8名
	うち プロパー	-	-	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	6名	6名	6名	5名	5名	5名
	合計	15名	15名	15名	14名	13名	13名
増減の主な理由							
○平成29年度： 管理施設の減に伴う組織見直しによる減(常勤役員を非常勤役員へ) ○平成30年度： 増減なし ○平成31年度： 経費節減のため、再雇用職員退職後、補充なし(平成31年度は、H31.4.23から常勤(正規)職員数は8名で合計13名。) ○令和2年度： 増減なし ○令和3年度： 増減なし							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役員再掲)(※)		H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1
	県派遣	9名	8名	8名	8名	7名	7名
	県OB	2名	2名	2名	2名	2名	2名
財政支出		H28	H29	H30	R1	R2	備考
	出資金	△261,750千円	-	-	-	-	県出資相当額の返戻
	貸付金	-	-	-	-	-	
	補助・負担金	62,591千円	1,219千円	1,252千円	1,097千円	1,122千円	
	委託料	99,550千円	-	-	-	-	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H29~R3)							
「安全・安心・快適な道路の提供」、「利用者の満足度向上」、「健全な公社経営」を基本方針とした、より健全で親しまれる道路の運営を目指す。							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は、反映していない。

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段:計画 下段:実績					改善目標区分の達成に向けた2020年度(R2)の取組状況	
				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)		2021(R3)
事業活動・住民サービス  (計画性 公益性 等)	① 福岡前原道路の利用促進に努め、業務収益の確保を図る。	福岡前原道路の1日当たりの平均交通量	台/日		60,419				69,297	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、福岡前原道路を安心して利用できるよう努めた。 また、道路の利用促進に向け、道路マップを更新し、道の駅や観光地のホテル、観光協会等へ配布し、引き続き利用台数の増加に努めた。 料金収受員の接客対応向上のため、委託会社による研修実施など、引き続き利用者サービスの向上に努めた。
		福岡前原道路の業務収益(年間収入)	千円/年	56,466	58,512	59,771	60,188	52,257	4,244,218	
財務会計  (経済性 効率性 等)	① 借入金の調達に際し、効率的な資金調達に努め、将来の金利負担を軽減する。	資金調達方法	-		競争入札による調達金利低減				競争入札による調達金利低減	県内、県外を含め8行の金融機関から借入利率の見積を徴することにより競争性を高め、低利率で資金を調達することに努めた。
		長期借入金残高(福岡前原道路)	百万円		20,681				13,089	
	② 定期的な維持管理業務(除草、路面清掃等)を引き続き効率的に実施する。	経常的維持管理業務費	百万円		28				28	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減が見込まれたため、走行上支障となる必要最低限の箇所のみ除草を行い、その他の箇所については保留した。
				29	24	26	37	29		
	③ 財務諸表	自己資本比率	%		31.8				31.8	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減に対し、より一層の経費削減を図り、長期借入金の返済による残高減に努めた。
		県債務保証額	百万円		20,681				13,089	
				21,612	20,031	18,544	16,472	14,845		
		人件費率	%		3.0				2.7	
	④ 県財政支出額	県財政支出額	千円		1,000				833	県財政支出額は、地方公務員等共済組合法に基づく県負担金のみである。
				162,141	1,219	1,252	1,097	1,122		
内部管理  (健全性 等)	① 労働契約法の改正に伴う無期労働契約の導入に際して、関係規程等の整備を遺漏なく進める。	労働契約法の改正に伴う規程等の整備	-		検討				実施	R3年度の本格実施に向け、人事評価制度マニュアルを作成し、対象職員に対し説明会を行った。
				-	実施	実施	実施	実施		
	② 嘱託職員が職務遂行を通じて発揮した能力や挙げた業績を的確に把握した上で、職員の士気の高揚と能力の開発を図る。	人事評価制度の導入	-		検討				実施	
				-	検討	検討	検討	実施		
③ 適正な職員数の配置を行い、人件費の縮減に努める。	職員数	人		15				13		
			15	15	15	14(13)	13			
達成状況(まとめ)										
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により料金収入が大きく落ち込んだため、目標達成が難しい状況であったが、経営改善を進めた結果、目標達成数は前年度と同数となった。          今後も新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、福岡前原道路を安心して利用できるようサービス向上に努めることで料金収入の増加につなげるとともに、引き続き経費削減を図り、経営安定化に向けた取組を進めていく。</p>										

5. 経営状況(道路公社)							
項目	単位	H28	H29	H30	R1	R2	
<b>【貸借対照表】</b>							
資産合計	千円	72,308,275	72,525,249	72,947,319	72,920,559	72,537,617	
うち金銭債権	千円	313,103	249,203	316,287	279,227	310,068	
うち棚卸資産(販売用不動産含む)	千円	341	494	319	346	187	
負債合計	千円	49,443,275	49,660,249	50,082,319	50,055,559	49,672,617	
うち借入金額	千円	21,612,466	20,030,836	18,544,641	16,472,187	14,844,922	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
資本の部合計	千円	22,865,000	22,865,000	22,865,000	22,865,000	22,865,000	
県債務保証額又は損失補償額	千円	21,612,466	20,030,836	18,544,641	16,472,187	14,844,922	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
<b>【損益計算書】</b>							
業務収入①	千円	3,711,248	3,626,933	3,735,106	3,787,712	3,310,816	
業務損益②	千円	1,656,116	1,872,739	1,907,455	2,006,879	1,231,179	
償還準備金及び道路(駐車場)事業損失補てん引当金繰入前損益③	千円	1,704,557	1,806,334	1,907,942	1,976,956	1,247,142	
当期損益	千円	-	-	-	-	-	
<b>【収支計算書】</b>							
総収入 A	千円	10,194,166	9,235,156	9,450,204	8,597,555	8,061,780	
うち県財政支出額	千円	△99,609	1,219	1,252	1,097	1,122	
内訳:出資金	千円	△261,750	-	-	-	-	
内訳:補助負担金	千円	62,591	1,219	1,252	1,097	1,122	
内訳:委託料	千円	99,550	-	-	-	-	
内訳:貸付金	千円	-	-	-	-	-	
総支出 B	千円	9,635,634	9,318,536	9,336,262	8,505,719	8,245,983	
うち人件費総額	千円	104,897	114,525	115,325	101,657	101,709	
当期収支 A-B	千円	558,533	△ 83,380	113,942	91,836	△ 184,203	
<b>【財務指標】</b>							
自己資本比率	%	31.6	31.5	31.3	31.4	31.5	
県財政支出率	%	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費率	%	2.8	3.2	3.1	2.7	3.1	
繰入前損益率	%	45.9	49.8	51.1	52.2	37.7	
<b>【団体毎の経営評価指標】</b>							
料金収入実績							
冷水道路	千円	74,048	-	-	-	-	
福岡前原道路	千円	3,456,058	3,590,782	3,673,756	3,755,644	3,282,460	
天神中央公園駐車場	千円	1,028	-	-	-	-	
収支率(費用/収入)							
冷水道路	%	215.6	-	-	-	-	
福岡前原道路	%	53.5	61.2	60.8	58.7	73.4	
天神中央公園駐車場	%	28.5	-	-	-	-	
<b>【常勤従業員の報酬・給与に関する状況(R2年度)】</b>							
常勤役員平均年齢	61.0歳	常勤役員平均年収	7,080千円	常勤職員平均年齢	50.5歳	常勤職員平均年収	7,446千円
<b>【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】</b>							
令和元年度分の繰越工事費を令和2年度に多く支払ったため、預金額が減となり、資産合計は減少した。新型コロナウイルス感染症の影響により料金収入が大きく落ち込んだため、総収入は減少した。総支出も収入見込に合わせ執行抑制を行った結果減少した。							
<b>6. 団体(経営責任者)の自己点検評価</b>							
<p>新型コロナウイルス感染症の影響のため、福岡前原道路の交通量が大きく減少したことに伴い、料金収入実績は、4億7,300万円減少し、損失補てん引当金及び償還準備金繰入額も7億3,000万円減少した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束後の利用者増に向け、道路マップを更新し、引き続き道の駅等に配布するなどの利用促進活動、料金收受員の接客向上のため、委託会社による研修実施など、利用者サービス向上に努めた。</p> <p>また、アセットマネジメント手法を取り入れた維持管理による経費削減、資金調達における入札制度の導入による支払利息の削減などのコスト削減に努めるとともに、嘱託職員への人事評価制度の導入など目標項目の達成を図ることができた。</p> <p>今後とも、安全・安心を第一に配慮した路線運営に努め、営業活動等による料金収入増を図るとともに、事務事業の改善を図るなど、より一層の経費節減に努め、経営の安定化に向けた取組みを進めることとした。</p>							
<b>7. 外部専門家の意見</b>							
<p>・現在運営管理している福岡前原道路では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、交通量及び料金収入がともに前年度から減少し、中期経営計画における改善目標を下回っている。</p> <p>今後、状況を見極めながら適時対応することが求められるとともに、引き続き、利用促進及び経費の節減等に努め、経営の安定化に取り組むことが求められる。</p>							
<b>8. 経営評価委員会による経営評価結果</b>							
<p>福岡前原道路の交通量及び料金収入は、新型コロナウイルスの影響によりともに前年度を下回った。</p> <p>今後とも、利用者の安全・安心の確保と共に利便性の向上に努めることで利用促進を図り、料金収入を確保しつつ、引き続き更なる経費節減に取り組み、公社運営の安定化を図る必要がある。</p>							

※県債務保証額には利息分を含まない。